



STOP! 介護崩壊 介護ウェーブ2010 推進ニュース

— 介護ウェーブの “Big Wave” をおこそう! —

方針「今後の介護ウェーブの取り組みについて」を具体化し介護改善要求の声を国会に届けよう!

石川民医連介護福祉部主催「介護学習会」に80名が参加 社会保障制度の理念の変質と対峙する民医連介護・福祉の理念(案)の重要性を学ぶ(石川)



9月21日に、石川民医連介護福祉部主催「介護学習会」を開催し、80名が参加しました。学習会は、民医連介護・福祉の理念(案)を中心に介護ウェーブ方針を学ぶことが主な目的です。高田一朗全日本民医連事務局次長の講演は、①介護保険制度の見直しをめぐる情勢、②民医連介護・福祉の理念とは、③介護ウェーブ方針についてで、特に、政府・厚労省の社会保障制度の理念の変質と対峙する民医連介護・福祉の理念(案)の重要性を学びました。今後、事例をまとめていく過程の中で、民医連介護・福祉の理念に共感し、民医連新綱領を確信することに取り組んでいきます。

また、私自身「10.21中央集会」への参加を新たに決意した学習会でした。

(2010年9月22日 社会福祉法人やすらぎ福祉会 酒井専務より)

地域の要求に応え、沖縄市での地域密着型小規模特養(29床)募集に手上げ(沖縄)

「治療は終わったのに在宅に帰せない。家族での介護は困難」とのニーズに応え、医療生協では、国場、安謝、美里に有料老人ホームを開設してきました。開設するとすぐ満室になり、高齢者の住まいづくりの必要性を痛感しているところです。一方で、「高齢者住宅は必要だけど、この金額では入れない。年金でも入れる特養施設を作ってほしい」との要望も多く寄せられています。そのような地域の要求に応え、沖縄市での地域密着型小規模特養(29床)募集に手上げを行いました。特養は社会福祉法人でないと開設ができません。そのため、急な取組みですが、5月に3法人(医療生協・健康企画・メディコープ)の代表でプロジェクトを発足し準備を進めてきました。第一次審査を無事通過し、8月19日に第2次審査(プレゼンテーション)を受けました。結果発表は9月中旬の予定です。社福設立は、介護事業の別法人化という観点からも、大きな意味をもつ取組みだと考えています。複数の法人から我法人が選ばれるかどうか?結果が楽しみです。(沖縄民医連ニュース 第1525号 2010年8月25日より)

照りつける日差しの中、該当署名に63人が参加 署名570筆(北海道)



9月4日午後、カンカン照りの日差しの中で「介護に笑顔を」連絡会の呼びかけによる街頭署名行動が行われ、札幌・大通公園に63人が参加し、太陽に負けずに! 1時間ががんばりました。あまりに日差しが強くて、通行人が少ない(みんな地下に「避難」している)中でも公園の木陰で休んでいる人をめがけて訴えるなどして、署名には、学生や赤ちゃん連れのお母さん、観光客まで、570人の協力が寄せられました。ハンドマイクでは、政府が「地域包括ケア」の名で公的保険の縮小や介護の市場化をたくらんでいて、高齢者の「あたり前の暮らし」が脅かされようとしていることを現場から告発しました。(北海道民医連ニュース2010.9.6より)

お問い合わせは、「介護ウェーブ推進本部」事務局：山平・名波まで

TEL 03-5842-6451 / FAX 03-5842-6460 / E-mail min-kaigo@min-iren.gr.jp